

ファン・タン・フォン研究員（ベトナム）



はじめまして。私はベトナムから来ましたファン・タン・フォンです。ベトナムでは国家防災センターという組織で科学専門研究員として働いています。ベトナムでは、農業開発省 (Resources of Ministry of Agriculture and Rural Development) というところでキャリアをスタートしました。

それでは、まず私の国ベトナムについて紹介したいと思います。ベトナムは、地理的にはインドシナ海の東方に位置していて、中国、ラオス、カンボジアと国境を有しています。国土面積はおよそ 33 万平方キロで、国の南部はメコンデルタ地帯と平地が分布し、中部と北部においては多くの山岳地帯が見られます。気候的には 4 月から 10 月が雨季に相当します。山岳地域における年間降水量は、稀に 4000 ミリに達します。一方で、11 月から 3 月は乾季にあたります。首都はハノイで人口は 9,270 万で、この中には 53 もの少数民族が含まれています。

自然災害について言えば、ベトナムは多くの災害や気候変動の影響を受けている国の一つです。特に、嵐、洪水、干ばつ、鉄砲水、洪水、地すべりなどが国内で頻発し、多くの財産や人命が奪われています。過去 20 年間においては、これら自然災害によって約 10,800 人もの人命が奪われ、28 兆ベトナムドンもの経済損失があったと報告されています。

私が所属している国家防災センターは、ベトナム国内における防災全体の業務を対応しています。具体的には、防災に係る法律や計画の策定、能力向上を目的とした各種トレーニングの実施、防災の専門家の養成、災害に対する予防及び緊急対応、気候変動への対応等を行っています。さらに、整備された防災に係る法律や計画などを国民に伝える啓発等も対応しています。私が行っている研究の内容としては、早期警報に関する新しい技術の提案、災害予防や対応に関する意思決定に対する支援、洪水などの定期観測、地域レベルに設置された警報システムの維持管理等があります。

アジア防災センター (ADRC) の活動は、各国の防災力を高めるためにメンバー国 30 か国と連携し、安全な地域づくり、そして防災に強い継続的な開発などに取り組んでいます。ベトナムにおいても、世界各国が持っているノウハウを蓄積することにより、継続的に発生している洪水、地すべり、嵐など、多種にわたる災害に対して被害を抑えるために、防災力を強化することが必要です。ベトナムにおいてはこのような背景があり、私が ADRC の客員研究員としての機会は大変貴重なものになると思います。今回、客員研究員として研究活動を行い、得ることが出来る知見や経験等を、自国ベトナムの防災分野において生かすことが出来ると信じています。